

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



スザッチ

フンボルトペンギン

フンボルトペンギンは7月上旬から8月中旬にかけて換羽期を迎えます。個体差はありますが、2週間ほどで全身の羽が生え替わります。1年間同じ羽を使っている、防水性や撥水性、保温性が無くなってしまったため新しい羽になるのです。

換羽中は、巣や陸上で過当 岡村まの)

換羽中は「ボツサボサ」



換羽中のフンボルトペンギン
(須坂市動物園提供)

ごします。水中で体温維持ができないことや、羽の防水性が低下するため泳ぐことができないからです。この期間、当園では一羽一羽に飼育員が手で餌をあげます。しかし、野生のフンボルトペンギンは餌をとることができず、絶食状態になります。そのため、換羽前に食欲が旺盛になり、換羽中は体力も消耗するため元気や食欲がないことが多いです。

普段は、胸に1本の太い黒い帯模様が特徴のフンボルトペンギンですが、換羽中はボツサボサになります。そんな姿はこの時期にしか見ることはできません。ぜひ普段と違ったフンボルトペンギンに会いに来てください。

(フンボルトペンギン担